

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170100459		
法人名	有限会社ライフ・シップ		
事業所名	嘉瀬紀水苑		
所在地	佐賀市嘉瀬町大字荻野698番地		
自己評価作成日	令和5年3月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年3月23日	外部評価確定日	令和5年5月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご利用者様やご家族様が安心して過ごされるように支援に努めています。また嘉瀬紀水苑の理念の「楽しく」「なごやか」「すこやか」をモットーに、ご利用者様に寄り添いながら日々一緒に過ごしています。天候の良い日には、日課の近隣散歩に出かけて季節を感じて貰い、また近所の方との挨拶や「地域交流おしるこ会」等も楽しんでいます。中学生体験学習の福祉体験で訪問してもらいました。福祉体験を通して一人でも福祉に興味を持っていただきたいと思います。また外出支援で伊勢神社参拝、嘉瀬川ダムドライブ、桜花見、コスモス見学、森林公園散歩等楽しめました。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は、のどかな住宅地と田園地帯に位置した環境を活かし、コロナ禍で人との関わりが自粛されている中でも近隣の公園の散歩や、苑外へ出かける活動を多く取り入れることができ、入居者に活気のある生活を提供している。又、隣が管理者宅という利点を活かし、地域との馴染みの関係が自然に構築され、ホームを中心にして、子供たちから高齢者まで地域住民同士のふれあいの場ができています。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえた理念を全職員とつくり、その理念を共有して実践につなげている。	開設時に作成された理念は数年前全職員で再検討し、現在の理念「楽しく・すこやか・なごやか」としている。目につくところに掲示し、毎月のミーティングなどで職員の意識付けを図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として自治会の参加や「子供110番」、「中学生体験学習」「地域交流おしるこ会」、地域の方が気軽に苑に立ち寄って頂けるように、日常的に交流している。一時的にコロナ感染症予防で自粛させて貰った時もあります。	代表者も隣に住んでおり自治会に加入している。地域の清掃作業などにも積極的に参加している。毎年開催していた「おしるこ会」もコロナ禍で中止していたが、今年の2月に利用者や家族、地域の方も参加していただき、開催することができた。地域の方からは、野菜など差し入れなどがあり、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践を通じて積み上げている認知症の方の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて、高齢者の方々の暮らしに役立てることが無いが話し合い、地域貢献に努めている。	/	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、ご利用者様、ご家族様、地域包括支援センター様、民生委員、自治会長様、地域の方等にご参加頂いていましたが、コロナ感染症予防で自粛させて頂きました。	会議は、コロナ禍で保険者の了承を得て各委員の参加での開催はできていないが、職員のみで開催されている。家族や委員の方には苑だよりを含む情報資料等を送付している。今年度からまた各委員の方に参加していただき開催を予定している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と日頃から連絡を取り、事業所の実情やケアサービスの取り組み等積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者は、電話や直接行政担当課に出向いて相談することも多い。ここ数年コロナウイルス感染防止対策やワクチン接種に関する件などの相談をすることも多く、行政とは常に連携が保たれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が勉強会や、研修会等で身体拘束をしないケアを理解して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は、夜間の戸締まりのみです。外に出られた利用者様には、必ず職員と一緒に出て暫く散歩したりしている。	入居契約時に身体拘束の無い支援について、指針をもとに説明している。これまで身体拘束の事例はない。コロナ禍で年間計画による年4回の勉強会は外部研修もオンラインで行い、拘束の無いケアについての意識を高めている。スピーチロックも無いように、十分に留意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が、勉強会、研修会等で高齢者虐待防止について学ぶ機会を持ち、利用者様の身体の状態を入浴時に観察して防止に努めています。また、言葉遣いにも注意しています。スピーチロックをしないように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会や研修会で、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、必要な方には活用されるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用者様やご家族様との契約の締結、解約又は改定等の時は、十分な説明を行い理解と納得が得られるように、また、不安や疑問点を尋ねて理解と納得を頂けるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様やご家族様が意見や要望、ご不満、苦情等言って貰えるような雰囲気づくりに努めています。また、全職員が意見や要望をどうしたら反映出来るか話し合いに努めています。	コロナ禍で面会に制限がある中でも、お互いに顔が見える状態での面会方法を工夫してきた。現在家族の面会の制限はなく面会時など顔を合わせた際には、意見を言ってもらいやすいよう配慮しながら関わっている。毎月発送する「苑だより」でも意見を募るなどし運営に活かそうと努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りに参加したり、勉強会、ミーティングの時等に職員の意見や提案を聞く機会を設けて運営に反映させている。	管理者は、毎日の業務引き継ぎに必ず参加し、職員の声や利用者の状況に耳を傾けている。毎月の行われる会議には全職員が出席し、自由に意見が交わされている。代表者は、向上心をもって働きやすい職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況などを把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が、向上心を持って働いて貰えるように職場環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や働きながら学ぶことを進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員が同業者と交流する機会をつくり、勉強会、相互訪問等、活動を通じてサービスの質を向上させていく取り組みに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に、ご本人が困られている事、不安なこと、要望等を聞く機会を持ち、ご本人が安心を確保出来るように関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族様等が、困られていたこと、不安なこと、要望等をよく聞く機会を持ち、ご家族様等の安心を確保出来るような関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、介護保険申請がされていない方、医療的に必要な方、施設に慣れられるか心配な方等に適した対応の方法をご説明し、支援を見極め他のサービス利用も含めた対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人と一緒に過ごし喜怒哀楽を共にし、ご利用者様から、色々と学ぶ機会も多く、暮らしを共に支え合う関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の訪問が有り、一緒に外出されて、買い物、お墓参り、自宅に行ったり、愛猫に会いに行かれたり、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共にご本人を支えて行く関係を築いています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまでに大切にされてきた馴染みの方、知人、ご近所の方、住職様等との関係が途切れないように、支援に努めています。	日頃の会話の中で馴染みの場所や知人、友人の思い出話を聞けることもある。コロナ禍で自粛中は事業所の固定電話で家族や友人などのやり取りを支援したりしていたが、現在コロナ感染対策に留意し出入りの制限は行っていない。近所の方や友達の訪問や、家族の協力も得ながら馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立されないように利用者同士が関わり合い、また、支え合えるように支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了した後も、熱気球が飛ぶ時期には、来苑されたり、差し入れを頂いたりして、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて相談や支援に努めています。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。全職員で情報を共有し、ご本人の意向に出来るだけ沿うように努めています。	利用者の心に寄り添いながらの支援している。これまでの暮らしの把握は家族から聞き取り、入居後は利用者とうっくり寄り添いながら、つぶやきや、動作、表情の変化などから、思いや意向の把握に努めている。得られた情報は職員で共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、情報収集し生活歴や生活環境、馴染みの暮らし方、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状把握に努めています。また、全職員で共有に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事業所用方式アセスメント表を用いて、ご本人がより良く暮らして頂けるように、課題とケアのあり方について、ご本人、ご家族、必要な関係者と話し合い、モニタリングし、それまでの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成しています。	利用者からは日々の関りの中で、家族とは面会時などに思いや意向を確認し、利用者主体の計画が作成されている。ケアプランに関連付けて記録できるよう書式が工夫され、毎日の利用者の状況やモニタリング内容などが記録されている。担当者会議の議事録やその他必要な書類はパソコンで管理されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様の日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報共有しながら実践や、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様一人ひとりを支えるために、ご家族の状況、その時々生まれるニーズや要望に対応して、柔軟な支援サービスの多機能化に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご利用者一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、地域のボランティア、民生委員、消防署、消防団等の方と協働しながら、ご本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人及びご家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医が、往診、受診されて事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援しています。	事業所での協力医のほか利用者や家族が希望する医療機関での受診を支援している。現在は、一人を除いて協力医療機関での受診で往診もあり、夜間も対応ができる。診療科も多く、理学療法士によるマッサージなど利用している入居者もいる。他科受診も含め受診が必要な利用者にあたっては、職員が同行支援している。歯科医は訪問歯科での受診で、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や、気づきを身体状態、経過等を看護職員や訪問看護師などに伝えたり、相談したり、ご利用者の健康管理や医療活用の支援に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様が入院された時は、安心して治療できるように、また、出来るだけ早期に退院出来るように、病院関係者との情報交換や相談に努めています。また、そうした場合に備えた連携に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用時の早い段階から、ご本人、ご家族等との話し合い、重度化した場合や終末期の看取り指針について事業所で出来ること等を説明し同意を得ています。かかりつけ医と地域の関係者と共に支援に取り組んでいます。	「重度化した場合及び看取りの介護の実施に関する指針」を備えている。利用者や家族とは契約時に看取りができることも話しているが、これまで看取りの事例は無い。希望があればその用意はあり、状況に合わせ本人や家族が安心して最期が迎えられよう支援される。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変や事故発生時に備えて、全職員が、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震や火災、水害時に備えて、ご利用者様が、避難できるように訓練で全職員が身につけるように、また地域との協力体制を得られるように努めています。遠くの避難所より近くの隣人との協力関係を築いて行けるように努めています。	年に2回、夜間の火災を想定した避難訓練を実施している。消防署も立ち合い、消火器業者も参加している。職員は消火器の使用方の訓練もしている。水害等の自然災害を含めて、地域の協力を得られる信頼関係も築かれている。非常食や飲料水の備蓄も備えており、大雨時の垂直避難についても隣りにある代表者の自宅2階を避難場所としている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮しながら、言葉かけや所在の把握もし、安全に過ごされるように対応している。	日々の入居者との関わりの中で、人格とプライバシーに配慮した介護となるよう支援している。排泄時の誘導など羞恥心に配慮し支援をしている。「苑便り」などへの写真掲載は家族に了承を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の希望や思い、自己決定が出来るように働きかけている。自分で決めたり、納得されながら過ごされており、強制や押しつけの支援とならないようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には、一日の流れは決まっていますが、一人ひとりのペースを大切に、体調、気分にも配慮しながら希望に沿った支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい理美容は、訪問にて支援させていただいき、ご利用者様にも気に入ってもらっています。身だしなみやおしゃれが出来るように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しい食事になるように一人ひとりの好みや形態、量等、力を活かしながら、利用者様と職員と一緒に食事、下膳、後片付け等している。	献立は食べたいものを尋ねて、できるだけ応えるようにしている。担当の職員が調理し、職員も一緒に同じ食事を摂りながらそれとなく見守っている。職員と一緒に野菜の下ごしらえをしたり、下膳をする利用者もいる。誕生日はケーキを手作りし、利用者に喜ばれている。近所の方が調理の手伝いに見えることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の一人ひとりの食事摂取量や栄養バランス、水分量(食事以外で一日1000cc)が飲水されるように、形態、品を変えるなどして提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの口腔状態やご本人の力に応じた口腔内の清潔保持に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、言葉かけやトイレ誘導をしながら、支援している。ご本人の習慣を活かしながら、トイレでの排泄や排泄の自立に向けての支援に努めています。	入居者個々人の排泄パターンを把握しており、オムツ使用が減少するなど、自立に向けた支援に取り組んでいる	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因やおよぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や運動への働きかけ等に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は一人ひとり、ゆっくり入って頂いている。希望やタイミングに合わせて入浴を楽しんで貰えるように安全にも配慮し支援している。	週に3回の入浴を基本としているが、お湯の準備は毎日できており、柔軟に対応している。入浴を嫌がられる方には無理強いせず、タイミングをずらしたりしながら支援している。菖蒲湯やゆず湯など、季節ごとの入浴を楽しめる工夫も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息や睡眠を取ってもらっている。安心して気持ちよく眠れるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが使用されている薬の目的や副作用や用量について理解に努めて、服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、好きなこと、気分転換、散歩や買い物、気晴らし、外出支援、嗜好品等の支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候の良い日には、戸外に出かけて近隣散歩、苑庭花見やひまわり見学、桜花見、コスモス見学、森林公園散歩、嘉瀬川ダム見学、等出かけて外出支援に努めています。また、ご家族様とお寺様にお参りされたり、ドライブに行かれています。	コロナ禍で外出する機会も減っているが、利用者の希望で、苑の周りを散歩したり、近くの森林公園まで出かけることもある。車から降りずに希望の場所までのドライブも実現している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理できる範囲の所持金でご家族様の要望に応じた支援に努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様や姉妹や大切な人への手紙、はがきを出されています。また、電話をかけた、かかって来たり、やり取りが出来るように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	幹線道路沿いのために車音、暴風音等の騒音防止で二重サッシ窓にしており、ホールの天窓からは優しい光を取り入れています。また、季節のポスター、大きな暦を設置し、よく見えるように工夫しています。	利用者が日中過ごすリビングは、壁のクロスを白色のものに貼り替えている。天窓からは自然光が差し込み、明るい空間となっている。感染対策を踏まえ、各居室と共に掃除や消毒も行い、窓を開けての換気も行われている。利用者がそれぞれ寛がれている場所からはキッチンが見え調理の準備や料理のにおいを感じることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごされるようにソファーや椅子で過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご本人やご家族様と相談しながら、馴染みのものや、仏壇、好みの物、囲碁、将棋盤、テレビを持参されています。ご本人が居心地よく過ごされるように工夫しています。	部屋の壁には家族写真が飾られ、位牌なども置かれている。本人の馴染みの物や大切にしているものを持ち込まれ、生活感が感じられる。個室内は掃除、整頓が行き届いている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの「出来ること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように支援しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない